

「横浜マラソン2022」におけるSDGs達成に向けた取組について

「横浜マラソン2022」は、3年ぶりのフルマラソンをはじめとしたリアル大会開催と循環する大会づくりを目指し、「RE-START YOKOHAMA MARATHON」をスローガンに、サステナブルな大会を目指した取組を推進しています。

服のリサイクルシステムの構築



本大会の参加賞Tシャツは「服から服をつくる®」BRING®※と連携し、不要となったポリエステル繊維の衣類から独自のポリエステルリサイクル技術「BRING Technology®」により再生された「BRING Material®」を一部使用した「BLANK」を採用しています。

本取組によって、おおよそ2.9tのCO₂排出量を削減しています。



10/30の「横浜マラソン2022」当日は、会場にて皆さんの思いの詰まったスポーツウェアや、不要になった衣類の回収を実施します。回収された衣類は、株式会社JEPLANによって素材に応じたリユース・リサイクルがおこなわれます。

※BRING®とは株式会社JEPLANのブランド名です。

再生可能エネルギーの活用



大会運営における再生可能エネルギー活用の取組として、10月30日の横浜マラソン会場における使用電力量及び大会組織委員会事務局での年間使用電力量に相当する20,000kwhのグリーン電力証書を購入します。これにより、おおよそ9.1tのCO₂削減に寄与します。



電気自動車の活用



第1回大会より、先導車両には日産自動車株式会社の提供により排出ガスゼロの電気自動車（EV）がランナーの皆様を誘導しています。

環境に優しいEVの採用により、CO₂排出量の削減に努め、よりクリーンで、より安全な大会運営に寄与します。



環境に配慮した制作物



植物由来素材を使用した参加者の手荷物預け袋や、ボランティアの活動袋の製作及びFSC 認証紙を活用した各種制作物の製作など、環境に配慮した取組を展開しています。



リサイクルに向けた実証実験等



横浜マラソンは、ヨコハマ SDGs デザインセンターのプロジェクトパートナーとして、デザインセンター会員と連携し、大会時に発生するゴミの資源化を目指した紙コップ回収の実証実験を実施します。

その他、株式会社 JEPLAN と連携し、回収したペットボトルからペットボトルへの水平リサイクルを試行します。



各種イベントの実施



大会当日以外にも大会関連イベントとして、マラソンが身近に感じられ、スポーツをすることの楽しさ・充実感が得られる取組や、環境への意識が高められる取組を実施します。

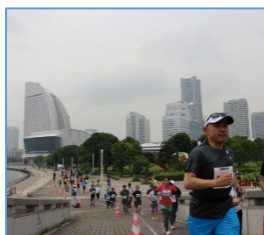
*ランナー向けイベント

10/9 (日) 目指せ完走！ビギナーランナーサポートレッスン

10/15 (土) 女性ランナー限定！マラソン完走サポートレッスン with S/PARK Studio

*クリーンアップイベント

11/13 (日) スポーツ GOMI 拾い



= その他関連イベントの開催 =

ウェルカムサービスの実施

横浜の地元企業等と連携し、公式サイトに掲載するロゴマークを提示することで特別なサービスを提供していただき、横浜マラソンを機に横浜にお越しになるランナーやその同伴者、応援者など多くの方々に横浜を楽しんでいただく企画です。



横浜マラソンフェスタ 2022 の開催

フィニッシュ会場である臨港パークにおいて、ランナーや応援者をはじめとした多くの皆様に、大会の雰囲気を楽しんでいただけるイベントを実施します。協賛社や関係団体のブースにおける取組紹介やキッチンカーの出店などを予定しています。

開催日：10月30日(日) *「横浜マラソン 2022」当日 開催場所：パシフィコ横浜 臨港パーク